

2月のことば
生活の見通し⑥～「言葉と動作」

◎ 人づくりの話しの確認

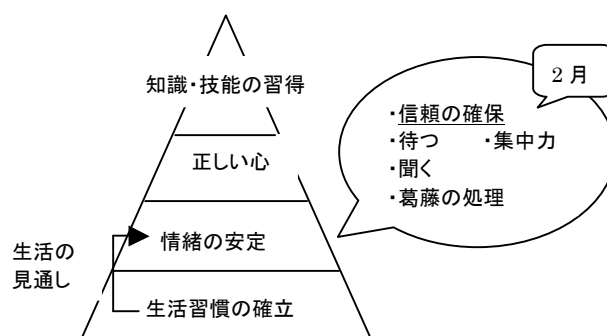
人づくりをピラミッドに例えてきた話しは、下から順に造らねばならず、「生活習慣の確立」が「生活の見通し」を生み、それが「情緒の安定」に至る、というもの。

建て物も、大工さんがこだわるのはその地が水平か否か。

教育・学問もまず、平らかな心があるか否か。

つまり、落ち着いて話を聞く事ができるか否か（情緒の安定）。

その情緒の安定という、素直で平らかな地（心）をつくるのにまず必要なのは、初歩的な“信頼の確保”。



————— * ————— * —————

◎ { 情緒の安定① ～ 初歩的な信頼の確保 }

「鬼は外！」今の鬼は、社会・大人を信頼できぬ者による事件・事故。

そこで信頼の築き方を一考。

- ・ 同じ事を幾度も尋ねる子は … 大人を試しており、答えの内容より対応が大切。
- ・ 同じ遊びをずうっとしている子は …
 - … 何かわずかな違いや、ファンタジーの世界に入り楽しんでいる場合があり、一旦、その中に一緒に入り共感する必要有。
- ・ 子どものする事は、大人の所作からするといずれも失敗である。
 - … よって、一つできた事があれば誉めて次に誘う。
- ・ 子どもの動きを否定するのではなく、どの様にさせるのかを考える。
 - … ルールは、禁止事項を作るのではなく「～すると ～ができる」約束をする。

等を考え、工夫し、まず特定の大人との信頼関係を築き情緒を安定させます。